



長岡高専の学生が八十里越と大河津分水で現場見学

9月27日(水)、長岡工業高等専門学校環境都市工学科第3学年の生徒42名が八十里越(国道289号5号橋梁下部その2工事)と大河津分水(大河津資料館、第二床固)を見学しました。この見学会は、日頃の授業で学んだことが、社会で、どのように役立つのかを理解してもらうために実施しました。生徒は、完成すると日本でも有数の橋脚高となる5号橋梁の施工方法や、「大河津分水」の歴史と役割についての説明を、熱心に聞いていました。



大河津資料館で歴史と役割を学ぶ



3H工法を採用した5号橋梁の橋脚工事



足場最上段から施工状況を見学



鉄筋の結束方法を体験

【計画課】

編集・発行・お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 計画課

TEL:0258-36-4551(代表) FAX:0258-33-7566



国土交通省北陸地方整備局

ふるさとのぬくもり伝える 道づくり

長岡国道事務所

〒940-8512 長岡市中沢4-430-1

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/index.html>

携帯版

スマホ版



ちよーこく 検索

「建設労働災害ゼロ」を宣言！あんぜん大会

長岡国道事務所工事安全対策協議会は9月28日に建設労働災害防止大会を開催し、施工者の皆さんとともに、労働災害、公衆災害、交通災害等をなくすための取り組みを確認し、建設労働災害ゼロを宣言しました。

大会では、長岡労働基準監督署、長岡警察署及び長岡市消防本部の講師の皆さんからそれぞれ、作業従事者の教育の徹底が大事であること、道路工事現場などでの交通事故や事故後の悲惨な事例、現場で事故が発生した場合の初動体制など、いずれも有用な講話をいただきました。

また、今年度安全管理優良受注者を授賞された(株)文明屋と(株)北越舗道の2社より、社内や現場における安全に関する取り組み事例を紹介いただくとともに、当事務所からは今年度の事故の発生原因、発生状況を説明し、注意喚起を行いました。



大会の最後には現場代表の戸田建(株)内藤現場代理人の先導で安全宣言を170名全員で唱和しました。【壇上が戸田さん】



【講話をいただいた皆さん】